

多賀城跡出土「漆紙文書」重要文化財指定記念  
多賀城跡附寺跡 史蹟指定100年記念  
多賀城歴史講座 平川 南先生 特別講演会

# 多賀城

うるし がみ もん じよ

# 漆紙文書

地下の  
正倉院文書は語る



2022 11/5 土

■ 東北歴史博物館3階講堂 (定員145名 聴講無料 要申込み) ■ 13:15 ~ 15:00



土器に付着した  
漆紙文書



仮名で書かれた文書  
(赤外線テレビカメラ画像)

多賀城跡出土漆紙文書は、令和4年3月に重要文化財に指定されました。指定を記念して、古代史研究の第一人者であり、多賀城の漆紙文書の解読に携わった国立歴史民俗博物館名誉教授の平川南先生に、解明のプロセス、成果とその価値についてご講演をいただきます。



## 申込方法

令和4年9月5日(月)9時30分から11月4日(金)15時00分の期間に、「みやぎ電子申請サービス」の右のQRコードからお申込みください。  
宮城県多賀城跡調査研究所のホームページからもアクセスできます。



主催 宮城県多賀城跡調査研究所 〒985-0862 宮城県多賀城市高崎1-22-1  
TEL 022-368-0102・FAX 022-368-0104  
E-mail tagajo\_lab@pref.miyagi.lg.jp  
Web <https://www.thm.pref.miyagi.jp/kenkyusyo/>

新型コロナウイルス感染症対策のため、入場制限を行う場合があります。詳しくは東北歴史博物館ホームページ、SNSでご確認ください。



多賀城創建記念  
TAGAJO 130th Anniversary  
724・2024



MIYAGI  
150th ANNIVERSARY

# 多賀城 漆紙文書

昭和45年、多賀城跡の発掘調査で大量に出土した謎の遺物…詳しい調査の結果、漆が付着して腐らずに残った紙の文書であることが明らかになり、昭和53年には日本で初めて「漆紙文書」として報告されました。古代の文書は、東大寺の正倉院にわずかに残る程度であったことから、古代史研究にとって画期的な発見でした。

## 古代の漆塗り作業と道具



## 赤外線テレビカメラによる調査風景



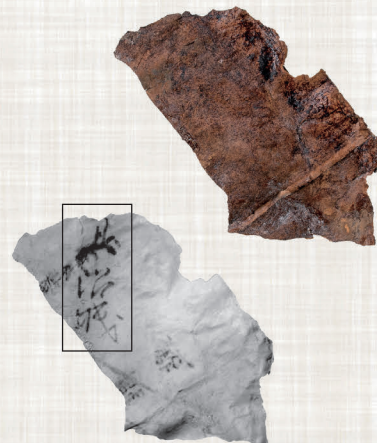
## 漆紙文書の出土状況 (多賀城跡第9次調査)



## 最初に肉眼で解読した文書 —宝亀11年(780年)の曆—



## 赤外線で解読された文字 「此治城」(伊治城)



### 関連行事①

## 「重要文化財指定記念 多賀城跡出土漆紙文書」

- 主催** 東北歴史博物館
- 場所** テーマ展示室
- 開催期間** 2022年10月18日(火)～11月30日(水)
- 開館時間** 午前9時30分～午後5時
- 休館日** 毎週月曜日
- 観覧料** 常設展観覧料金でご覧になれます  
一般460円(小・中・高校生無料)

### 関連行事②

## 多賀城講座

多賀城跡調査研究所の研究者がそれぞれの専門分野の視点から、これまでの調査研究の蓄積を踏まえて、多賀城跡や古代東北地方の様子を一般の方々へ伝え、地域の歴史文化を知っていただく講座です。

- 場所** 東北歴史博物館3階講堂
- 開催期間** 2022年10月15日(土)・10月29日(土)  
全2回 午後1時30分～午後3時  
※詳細は多賀城跡調査研究所ホームページをご覧ください。